

<コアラ>

ねらい

保育者や友だちと行事に参加し、一緒にすることの楽しさを知る。

健康

食べこぼしなどに気付き、自分で拾ったり、保育者に伝えたりしながら「こぼさない様に食べよう」という意識を持って食事をする。

人間関係

自分と違う価値観や意見を経験し、他者との違いに気付き、自分の気持ちと折り合いをつけようとする。

環境

節分の由来などを聞き、理解した上で鬼の面や豆入れ作りをし、願いを込めて豆まきに参加する。

言葉

「鬼は外」… 嫌な事、悪い行いや言動、病気
「福は内」… 楽しい事、嬉しい事、健康である事などを理解し言葉遊びをする。

表現

雪や氷、乾燥した葉っぱなど、冬の自然に触れ、感触や冷たさを楽しむ。

<つぼみ 2>

ねらい

寒い季節を健康に過ごす。自分から友だちと関わりを持ち、楽しく遊ぶ。

健康

自分で体調の不良に気付き、簡単な言葉（しんどい・お腹が痛い等）で保育者に伝える。

人間関係

友だちと積極的に関わりながら、相手にも思いがある事を知り、自分たちで「5回したら交代」「私は〇〇で～ちゃんは□□する？」「家はここにしよう」など決まりを作って遊びを進める。

環境

豆まきを通して節分の由来を知り、豆まきを楽しむ。
簡単なクイズ（数・長さなど）をしながら数や大小・長短を理解する。

言葉

保育者や友だちの話を終わりまでしっかりと聞く。

表現

保育者と一緒に劇遊びを行い、楽しさを味わう。

<つぼみ 1>

ねらい

寒さに負けず、保育者や友だちと一緒に元気一杯に遊ぶ。

健康

戸外で全身を使った遊びをし、気持ちよく遊ぶ。

人間関係

気の合う友だちと同じ遊びを楽しむ。

環境

節分の伝統的な行事（節分）に参加する。

言葉

遊びの中で自分の気持ちや欲求を言葉にして伝えようとする。
「鬼は外」「福は内」の言葉を知り、大きな声で言う。

表現

簡単なリズム遊びや見立て遊び、まねっこ遊びを楽しむ。

<年長>

ねらい

就学の期待を持って生活し、自分で生活の見通し（次に何をするのか、何が必要か、何をすれば良いか）を持ちながら活動を行う。

健康

戸外遊びの際、自分で衣類の調節を行う。

又、脱いだ上着は畳んで自分で管理できるようになる。

人間関係

友だちと会話を楽しむ中で、自分の考え・意見を伝えると共に相手の意見も聞き、認め合う。

環境

節分の由来がわかる絵本を読んだり、豆まきをする事を通して節分の意味を知り、豆まきを元気に行う。（自分の中にある弱い鬼も退治する。）

言葉

遊びの中で（かるた・しりとり・伝言ゲーム・・・など）文字・数字に関心を使う。知らない言葉の意味に興味を持ち、知ろうとする。

表現

音楽会后、好きな楽器や合奏に出ていなかった楽器に触れ、皆で合奏をしたり、音をならすことを楽しむ。

<年中>

ねらい

出来るようになった事に自信を持ち、さらに成長していけるように挑戦していく。

健康

園全体で使用する玩具や道具の整理整頓を意識し、自分たちで考えて元の場所に片付けられるようになる。

人間関係

自分が知っていることを友達と共有したり、新しい事にチャレンジする中で、困っている友達に教えてあげたり手助けをするなど思いやりの気持ちを持って接する。

環境

夏野菜と冬野菜の育ち方の違いを知り、冬から春への季節の移り変わりを感じながらお世話をしていく。

言葉

「鬼は外、福は内」と皆で元気に声をかけながら豆まきに参加する。また節分の由来や言葉の意味を知り、日本の風習に興味関心を持つ。

表現

劇遊びを通して、物語の世界を楽しみ、自分の役を意識しながら、役になりきって表現する。

<年少>

ねらい

友だちとイメージを共有しながら活動に取り組み、関わりを深める。

進級に向けて、時間を意識し、活動の切り替えや片付け等の見通しを持つ。

健康

寒い中でも、鬼ごっこや縄跳びなどで体をしっかり動かして遊ぶ。

人間関係

年上の友だちの姿に憧れを持ち、進級への期待感を持つ。

（スティックやメロディオン等、意欲を持って取り組む。）

環境

劇遊びで使う道具を作ったり、動作（ポーズ）を自分たちで考えたりする。

言葉

自分の気持ちを伝えるだけでなく、相手の思いを聞く。

表現

物語のイメージを共有し、友だちと声を合わせて台詞を言ったり、歌や身振りで表現する事を楽しむ。